

1. 本提言の位置づけ

本冊子は、コアゾーン等検討懇話会がコアゾーン等の整備内容等に関する考え方をとりまとめた姫路市への提言。

2. 本提言の対象地区

本提言は、キャストィ 21 のうちコアゾーン・A～Cブロックとエントランスゾーン・12街区を対象とする。

3. コアゾーン等に求められる役割

- (1) 姫路の顔となる新たな都市拠点づくり
- (2) 来街者をもてなし、時を感じ人が交流する空間づくり
- (3) 東西方向の新たな景観・環境軸の創出
- (4) 官民の連携・協働による、創り・守り・育てるまちづくり

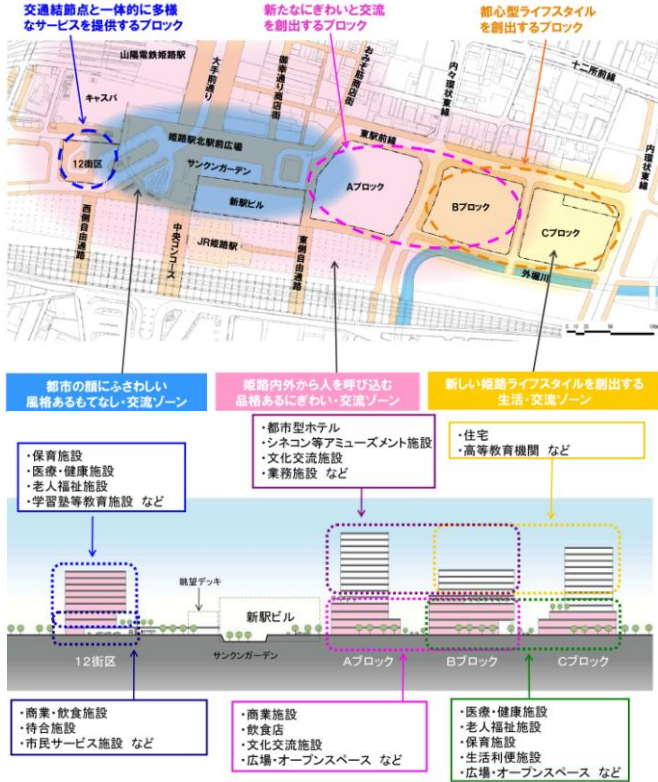
4. コアゾーンの開発コンセプト

～輝き続ける城下町姫路の新たな「まち」～
 新たなにぎわい・交流、ライフスタイルを創出する
 品格ある都心核

5. コアゾーン等のまちづくり方針

基本方針 1：複合的な土地利用の展開

- 方針①：A～Bブロックににぎわい・交流機能、B～Cブロックに生活・交流機能を中心に導入
- 方針②：低層部ににぎわいを創出する施設の配置



基本方針 2：多様な歩行者等ネットワークの形成

- 方針③：駅や中心市街地から人呼び込む東西軸の創出
- 方針④：地上レベルを中心とした歩行者回廊の形成
- 方針⑤：回遊拠点となる広場空間の整備
- 方針⑥：利用しやすく、安全な自転車交通環境の整備



基本方針 3：水とみどりにあふれた環境共生都市の形成

- 方針⑦：水とみどりがあふれる都市空間の創出
- 方針⑧：低炭素や防災に配慮した自然と共生するまちの形成



基本方針 4：品格ある都市景観の形成

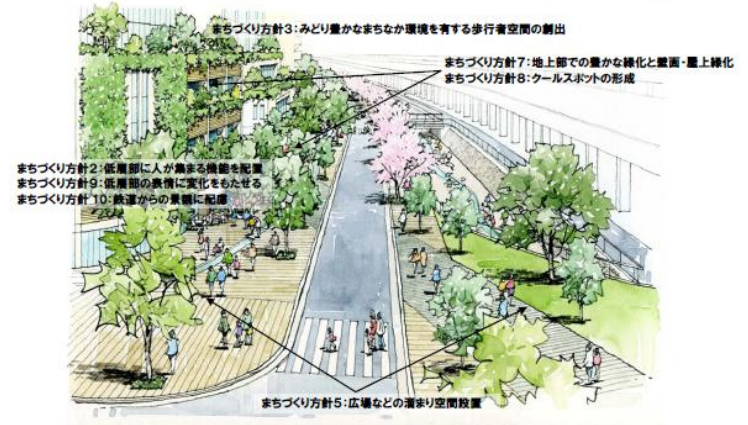
- 方針⑨：低層部の表情に変化を持たせるとともに、素材に考慮した建築・街路デザイン（近景）
- 方針⑩：新幹線や鉄道からの景観に配慮（中景）
- 方針⑪：風格を感じさせるスカイラインの形成（遠景）

基本方針 5：官民協働によるまちづくりと管理・運営

- 方針⑫：まちづくりの基本方針を具現化し、将来にわたり担保
- 方針⑬：地域活性化や防災・減災などの取り組みに参画・協力
- 方針⑭：土地・建物の資産価値の維持・増進



「にぎわい軸」の整備イメージ（東駅前線をAブロック北側から東に望む）



「うるおい軸」の整備イメージ（外堀川周りをBブロック南側から東に望む）

コアゾーンの整備イメージ（にぎわい軸、うるおい軸）

※この図面は、整備イメージであり決定したものではありません。

6. 12街区の整備方針

1階での交通広場の整備、駅前広場デッキとの接続、駅前・交通結節点にふさわしい導入機能・施設などを考慮して事業コンペを実施